

『新型コロナウイルス 感染症について』

感染管理認定看護師 渡邊 正美



現在「新型コロナウイルス感染症」が流行しています。
現時点での情報とコロナウイルスについてお伝えします。

○コロナウイルスとは

発熱や咳、鼻水、鼻づまり、のどの痛みなどを引き起こすウイルスで、人に感染するものは6種類あります。そのうちの2つは、過去に話題になった中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼吸器症候群(SARS)ウイルスが含まれます。残り4種類のウイルスが一般の「かぜ」の原因の10～35%を占めます。

新型コロナウイルスは、中国の湖北省武漢市で発見された新しいコロナウイルスの一種となります。

【図1】ヒトに感染するコロナウイルスの特徴

ウイルス名	HCoV-229E HCoV-OC43 HCoV-NL63 HCoV-HKU1	SARS-CoV	MERS-CoV
病名	かぜ	SARS (重症急性呼吸器症候群)	MERS (中東呼吸器症候群)
発生年	毎年	2002年～2003年(終息)	2012年～
発生地域	世界中	中国広東省	アラビア半島
宿主	ヒト	キクガシラコウモリ	ヒトコブラクダ
症状	鼻炎、上気道炎、下痢	高熱、肺炎、下痢	高熱、肺炎、腎炎
感染経路	飛沫、接触	飛沫、接触、便	飛沫、接触
潜伏期間	2～4日	2～10日	2～14日

国立感染症研究所「コロナウイルスとは」一部抜粋
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/9303-coronavirus.html>

○受診や検査を希望する場合

かぜの症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です)、強いだるさや息苦しさがある場合は、まずは最寄りの保健所に相談してください。保健所が検査できる医療機関を紹介しますので、マスクをして受診してください。

他の方への感染を防ぐため突然の受診はご遠慮ください。

市民の方の医療機関への電話も、保健所に相談するよう説明していますのでご了承ください。



○かからないために

インフルエンザと同じ「飛沫感染」と「接触感染」です。外出後、食事の前には石けんやアルコール消毒液などによる手洗いを行ってください。

街中ではすぐに手洗いができず、現在はマスクも品薄状態です。咳やくしゃみは手でおさえるのではなく、ハンカチやティッシュ、袖口でおさえてください。



すべてのかぜ症状が「新型コロナウイルス」とは限りませんが、やはりひとが多い場所にはインフルエンザをはじめ、さまざまなウイルスに接触する機会が多くなります。できるだけ人多い場所を避けることも予防策になります。

これまで経験したことない感染症の出現に不安な日々が続いていると思いますが、参考になれば幸いです。

この情報は2020年2月28日現在の対応や情報です。日々状況が変わり情報が更新されていますのでチェックしてください。

○厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q1

○島根県ホームページ 新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/yakuji/kansensyo/other/topics/bukan2020.html>

○LINEニュース 「新型肺炎 最新情報まとめ」